

一般研究発表

第1日目 9月9日(水)

人文・社会科学系

A会場 (教育研究棟2階1201教室)

時間	演題番号	演 題	発表者	所 属	座 長
9:00	IA-1	福岡藩高田新左衛門家と会津藩における宝蔵院流高田派の伝書大系と術技に関する考察	石川 哲也	全日本槍術連盟	森本 邦夫 (広島県立佐伯高校)
9:15	IA-2	統治時代の台湾における弓道について—雪荷派弓術と川島堯—	松尾 牧則	国際武道大学	
9:30	IA-3	「紅葉重ね」に関する一考察	黒須 憲	東北学院大学	
9:45	IA-4	剣道具から見た剣道の技術史—幕末・明治期に着目して—	坂本 太一	岐阜薬科大学	酒井 利信 (筑波大学)
10:00	IA-5	道具着用剣術の伝播に関する研究～文化7年羽州天童に於ける心地流と神道無念流との相克～	三苦 保久	滋賀県立瀬田高等学校	
10:15	IA-6	嘉永4年の藤堂邸における剣術試合の様相について	森本 邦生	広島県立佐伯高等学校	
10:30	IA-7	一刀流の「三重」について—元禄期の小野家・津軽家伝書に基づく研究—	立木 幸敏	国際武道大学	数馬 広二 (工学院大学)
10:45	IA-8	山本勘助著「兵法秘伝書」を読む(その2)	内田 建也	山梨支部	
11:00	IA-9	The way of the sword as a path to human character development:Swordsmanship as a tool to forge oneself	Andreea ILIE	明治大学 研究生	
11:15	IA-10	明治16年の「撃剣柔術調査」について—柔術・当身技の調査に着目して—	久保山和彦	日本体育大学	桐生 習作 (講道館)
11:30	IA-11	嘉納治五郎清國巡遊記考 其三—武漢・長沙に於ける交友関係を中心にして—	東 憲一	東京外国語大学	
11:45	IA-12	旧東ドイツにおける柔道の受容に関する研究—青少年を対象にする指導法を中心にして—	マーヤ・ソリドール	津田塾大学	

昼食・休憩

本部企画

会場 (教育研究棟 B階記念講堂 (1B01))

13:00	総 会
13:50	
14:00	基調講演:「東西の武闘家たちの思想—朝鮮とペルシアから—」 松浪健四郎 日本体育大学理事長
14:45	
15:00	本部企画:シンポジウム <p style="text-align: center;">中学校武道実施への対応—指導成果の検証—</p> パネリスト: 柔道専門分科会 磯村元信 (都立秋留台高等学校) 剣道専門分科会 柴田一浩 (流通経済大学) 相撲専門分科会 満留久摩 (都立足立新田高等学校) コーディネーター: 本村清人 (日本武道学会副会長・公益財団法人日本学校体育研究連合会会長)
17:00	

一般研究発表

第1日目 9月9日(水)

自然科学系

B会場 (教育研究棟2階 1202教室)

時間	演題番号	演 題	発表者	所 属	座 長
9:00	IB-1	武道・スポーツにおける「慣性力」の意味と重要性	坂井 伸之	山口大学理学部	高橋健太郎 (関東学院大学)
9:15	IB-2	下肢は剣道の打突速度にどの程度貢献するのか	椿 武	神戸親和女子大学	
9:30	IB-3	剣道競技者の構えから打突に至る過程の神経生理学的研究—室内モデル実験を用いて—	川井 良介	筑波大学大学院 人間総合科学研究科	池田 孝博 (福岡県立大学)
9:45	IB-4	筋電計測から見た剣道の身体運動における経験者と未経験者の違い	西畑 大輔	福井大学大学院 工学研究科 知能システム工学専攻	
10:00	IB-5	武道競技者の踏み込み動作における下肢筋電図活動パターンの解析	麓 正樹	東京国際大学	
10:15	IB-6	剣道の応じ技に現れる技術的差異	高橋健太郎	関東学院大学 理工学部	山神 眞一 (香川大学)
10:30	IB-7	少年剣道実践者による剣道用試作マットの主観的評価	池田 孝博	福岡県立大学	
10:45	IB-8	柔道背負投の技術的指標に関するバイオメカニクス的研究	石井 孝法	了徳寺大学	小澤 雄二 (熊本大学)
11:00	IB-9	柔道における受の防御が背負投動作に及ぼす影響	近藤 俊	筑波大学大学院	
11:15	IB-10	柔道競技における中断時間の有効な行動選択についての考察	高田 博文	順天堂大学 大学院	松崎 守利 (九州女子短大学)
11:30	IB-11	柔道形強化選手の心理的競技能力に関する研究	横山 喬之	摂南大学	

昼食・休憩

本部企画

会場 (教育研究棟 B 階記念講堂 (1B01))

13:00	総 会
13:50	
14:00	基調講演:「東西の武闘家たちの思想—朝鮮とペルシアから—」 松浪健四郎 日本体育大学理事長
14:45	
15:00	本部企画:シンポジウム <p style="text-align: center;">中学校武道実施への対応—指導成果の検証—</p> パネリスト: 柔道専門分科会 磯村元信 (都立秋留台高等学校) 剣道専門分科会 柴田一浩 (流通経済大学) 相撲専門分科会 満留久摩 (都立足立新田高等学校) コーディネーター: 本村清人 (日本武道学会副会長・公益財団法人日本学校体育研究連合会会長)
17:00	

一般研究発表

第1日目 9月9日(水)

武道指導法系

C会場 (教育研究棟2階 2201教室)

時間	演題番号	演 題	発表者	所 属	座 長
9:00	IC-1	正課体育柔道の授業における大学生の武道に対するイメージの変化：通年型と半期型の比較	桐生 習作	公益財団法人講道館	増地 克之 (筑波大学)
9:15	IC-2	柔道授業の危険場面の認識	山崎 元太	東京学芸大学大学院	
9:30	IC-3	柔道指導者講習会における受講の有無が安全管理に与える影響	大辻 康太	横浜国立大学大学院教育学研究科	
9:45	IC-4	柔道競技における前回り受け身についての一考察	日向野泰彬	順天堂大学大学院	
10:00	IC-5	高校柔道選手の指導者に対する信頼感の競技レベルによる差異	金丸 雄介	了徳寺大学	籾根 敏和 (京都教育大学)
10:15	IC-6	武道における「柔の理」の定着度に関する調査—柔道・柔術・レスリングの比較—	有山 篤利	兵庫教育大学大学院	
10:30	IC-7	形の技能評価原論(9) —「水流」の理合いについて	村田 直樹	公益財団法人講道館	
10:45	IC-8	動きを学ぶ剣道学習の提案 —竹刀を用いない学習プログラムの効果—	村崎謙志朗	兵庫教育大学大学院	有田 祐二 (筑波大学)
11:00	IC-9	二刀講足前に関する理論的考察	山口 正人	弘前大学	
11:15	IC-10	段階的剣道指導法の検討	木原 資裕	鳴門教育大学	

昼食・休憩

本部企画

会場 (教育研究棟 B 階記念講堂 (1B01))

13:00 13:50	総 会
14:00 14:45	基調講演：「東西の武闘家たちの思想—朝鮮とベルシアから—」 松浪健四郎 日本体育大学理事長
15:00	本部企画：シンポジウム <p style="text-align: center;">中学校武道実施への対応—指導成果の検証—</p> パネリスト：柔道専門分科会 磯村元信 (都立秋留台高等学校) 剣道専門分科会 柴田一浩 (流通経済大学) 相撲専門分科会 満留久摩 (都立足立新田高等学校) コーディネーター：本村清人 (日本武道学会副会長・公益財団法人日本学校体育研究連合会会長)
17:00	

一般研究発表

第1日目 9月9日(水)

ポスター発表

P会場 (教育研究棟2階 2202教室)

時間	演題番号	演 題	発表者	所 属	座 長
10:00	IP-1	大学柔道指導者の選手との心理的距離感と競技成績との関係	木村 周平	びわこ成蹊スポーツ大学	久保田浩史 (岐阜大学)
	IP-2	大学柔道部員の背負い投げ時における注意の所在に関する研究	渡部 将之	大阪産業大学	
	IP-3	武道で教える「日本の伝統文化」の実践—留学生を受け入れて—	平田 佳弘	環太平洋大学	
10:15	IP-4	柔道の内股における体幹傾斜角度の変化について	井上 康生	東海大学体育学部武道学科	河 鯨 一彦 (関西学院大学)
	IP-5	内股に関するバイオメカニクスの研究	羽賀龍之介	東海大学大学院体育学研究科	
	IP-6	背負投の崩しに関する運動学的研究—受の体重分布に着目して—	射手矢 岬	東京学芸大学	
	IP-7	ドスコイバーを用いた押し動作の運動学的研究	齊藤 昌幸	東京学芸大学大学院	
10:35	IP-8	Special Judo Fitness Test における試技の違いの影響	石橋 剛士	熊本学園大学	曾我部晋哉 (甲南大学)
	IP-9	柔道における頭頸部外傷予防プログラムの検証	奥村 達郎	東海大学大学院体育学研究科	
	IP-10	足趾力と柔道の戦績及びスポーツ傷害の発症との関係について	小嶋 新太	日本体育大学	

昼食・休憩

本部企画

会場 (教育研究棟 B 階記念講堂 (1B01))

13:00 13:50	総 会
14:00 14:45	基調講演:「東西の武闘家たちの思想—朝鮮とペルシアから—」 松浪健四郎 日本体育大学理事長
15:00	本部企画: シンポジウム 中学校武道実施への対応—指導成果の検証— パネリスト: 柔道専門分科会 磯村元信 (都立秋留台高等学校) 剣道専門分科会 柴田一浩 (流通経済大学) 相撲専門分科会 満留久摩 (都立足立新田高等学校) コーディネーター: 本村清人 (日本武道学会副会長・公益財団法人日本学校体育研究連合会会長)
17:00	

一般研究発表

第2日目 9月10日(木)

人文・社会科学系

A会場 (教育研究棟2階1201教室)

時間	演題番号	演 題	発表者	所 属	座 長
9:00	IIA-1	フランス人柔道修行者の柔道に対する意識構造について—柔道に対する態度に着目して—	濱田 初幸	鹿屋体育大学	木村 昌彦 (横浜国大)
9:15	IIA-2	中学校柔道履修者を対象とした柔道授業の効果の検討	小崎 亮輔	順天堂大学 大学院スポーツ 健康科学研究科	
9:30	IIA-3	日露のサンボ競技における国際交流が選手強化に与えた影響	松本 秀彦	日本体育大学	
9:45	IIA-4	大日本帝国剣道形増補加註の制定過程における討議内容の解明とその分析：近藤知善筆の討議記録に基づいて	矢野 裕介	神戸医療 福祉大学	菊本 智之 (常葉大学)
10:00	IIA-5	大正・昭和前期の師範学校・中学校の武道普及状況に関する一考察～文部省教育統計調査資料集成を手がかりに～	宮地 広樹	大阪教育大学 大学院	
10:15	IIA-6	戦時下における武道論の諸相：昭和14(1939)年の武道振興委員会に着目して	中嶋 哲也	茨城大学 教育学部	
10:30	IIA-7	韓国剣道における審判に関する研究—5人制審判法の改善—	加藤 純一	文教大学 教育学部	植原 吉朗 (國學院大学)
10:45	IIA-8	国際化に伴う剣道の価値に関する研究Ⅲ—日本剣道 KENDO と韓国剣道 KUMDO の世代間の相違から—	小田 佳子	東海学園大学	
11:00	IIA-9	中華人民共和国における剣道の普及過程と現状について	渡邊孝士郎	筑波大学大学院 人間総合科学研究科	
11:15	IIA-10	剣道における女子大学生の競技力に関する研究～全日本女子学生剣道優勝大会における上位チームの選手構成に見る個々の競技実績が結果に与える影響及びその関連性についての研究～	桜井 美子	神奈川大学	太田 順康 (大阪教育 大学)
11:30	IIA-11	小手打撃時の攻防精度の熟練	大山 達彦	東京学芸大学	

昼食・休憩

専門分科会企画

13:00	空手道 専門分科会	剣道 専門分科会	弓道 専門分科会	障害者武道 専門分科会	なぎなた 専門分科会	柔道 専門分科会
	教育研究棟 2階1202教室	教育研究棟 2階2201教室	教育研究棟 2階3201教室	教育研究棟 2階2206教室	教育研究棟 2階3202教室	教育研究棟 2階1201教室

※各専門分科会企画の開始時刻が異なります。

一般研究発表

第2日目 9月10日(木)

自然科学系

B会場 (教育研究棟2階 1202教室)

時間	演題番号	演 題	発表者	所 属	座 長
9:00	II B-1	大学柔道選手と他の運動選手の内転外転筋力の比較	久保田浩史	岐阜大学	前川 直也 (国際武道大学)
9:15	II B-2	全国中学校柔道大会における体力測定に関する研究:2000-2014年の中学生柔道選手を対象として	佐藤 武尊	皇學館大学	
9:30	II B-3	柔道選手における ACTN3 および ACE 遺伝子多型とパワー発揮の関係について	竹内 優香	東京学芸大学大学院	
9:45	II B-4	大学生の運動部活動(柔道)中における熱中症の予防と対策	菊川 顕	岡山大学大学院	村山 晴夫 (獨協医科大学)
10:00	II B-5	大学女子柔道選手の傷害発生状況	佐藤 康宏	帝京大学	
10:15	II B-6	柔道受け身時の頭頸部変位と頭部傷害基準との関係	河 鱈 一彦	関西学院大学人間福祉学部	石井 孝法 (了徳寺大学)
10:30	II B-7	柔道の後ろ受身を模擬する頭頸部数値モデルの開発	田村 篤敬	鳥取大学	
10:45	II B-8	柔道の受け身動作遂行時における頭部衝撃評価	村山 晴夫	獨協医科大学	
11:00	II B-9	男子大学柔道選手の打込における持久力トレーニングの検証 —大内刈を対象として—	窪田 友樹	関東学院大学	桑森 真介 (明治大学)
11:15	II B-10	高気圧高酸素環境下への急性曝露に対する生体応答	竹澤 稔裕	関東学院大学	
11:30	II B-11	Special Judo Fitness Test と新たに考案する Uchikomi Shuttle Run Test との相関について	曾我部晋哉	甲南大学	
11:45	II B-12	剛柔流空手道基本形サンチンおよび開手形セーサン演武時の脳血流変化の比較	藤枝 賢晴	福岡医療短期大学	坂東 隆男 (大阪大学)
12:00	II B-13	高校男子剣道選手における血中乳酸動態と機械的出力パワー	山本 憲志	日本赤十字北海道看護大学	

昼食・休憩

専門分科会企画

13:00	空手道 専門分科会	剣道 専門分科会	弓道 専門分科会	障害者武道 専門分科会	なぎなた 専門分科会	柔道 専門分科会
	教育研究棟 2階 1202 教室	教育研究棟 2階 2201 教室	教育研究棟 2階 3201 教室	教育研究棟 2階 2206 教室	教育研究棟 2階 3202 教室	教育研究棟 2階 1201 教室

※各専門分科会企画の開始時刻が異なります。

一般研究発表

第2日目 9月10日(木)

武道指導法系

C会場 (教育研究棟2階 2201教室)

時間	演題番号	演 題	発表者	所 属	座 長
9:00	II C-1	剣道の打突動作と「起こり」に関する研究	今福 一寿	明星大学 教育学部	木原 資裕 (鳴門教育 大学)
9:15	II C-2	大学剣道選手の正面打突動作に関する研究 —個人差や指導ポイントとなる身体部位に着目 して—	木村 悠生	茗溪学園中学校 高等学校	
9:30	II C-3	剣道選手の打突と踏み込みの時間差について	竹中健太郎	鹿屋体育大学	
9:45	II C-4	中学校武道必修化に対応した剣道教材の開発	柴田 一浩	流通経済大学	鍋山 隆弘 (筑波大学)
10:00	II C-5	対人的攻防の醍醐味を味わう剣道の授業展開に に関する研究 —学習者の思考力・判断力の高まりに着目して—	立野龍太郎	福岡教育大学 大学院	
10:15	II C-6	国際柔道連盟試合審判規定の改正が競技内容に 及ぼす影響：グランプリ・デュッセルドルフ 2013 から 2015 の比較	三宅 恵介	中京大学	
10:30	II C-7	ルール変更に伴う競技内容の分析 (その2) —全日本柔道選手権大会・皇后杯全日本女子柔道 選手権大会(2009 - 2012年大会)を対象として—	坂本 道人	福岡大学	佐藤伸一郎 (拓殖大学)
10:45	II C-8	ロンドンオリンピック以降の国際柔道大会にお ける競技分析 —ロシア・韓国男子選手を対象に—	川戸 湧也	筑波大学大学院	

昼食・休憩

専門分科会企画

13:00	空手道 専門分科会	剣道 専門分科会	弓道 専門分科会	障害者武道 専門分科会	なぎなた 専門分科会	柔道 専門分科会
	教育研究棟 2階 1202 教室	教育研究棟 2階 2201 教室	教育研究棟 2階 3201 教室	教育研究棟 2階 2206 教室	教育研究棟 2階 3202 教室	教育研究棟 2階 1201 教室

※各専門分科会企画の開始時刻が異なります。

一般研究発表

第2日目 9月10日(木)

ポスター発表

P会場 (教育研究棟2階 2202教室)

時間	演題番号	演 題	発表者	所 属	座 長
10:00	II P-1	よい抑え込み動作の究明と抑え込み評価基準の作成	籾根 敏和	京都教育大学	射手矢 岬 (東京学芸大学)
	II P-2	柔道の授業における戦術学習の提案	小澤 雄二	熊本大学	
	II P-3	中学校柔道授業における生徒の学習成果のバターンをもとにした類型化	山本 浩二	神戸医療福祉大学	
	II P-4	体育授業における柔道のイメージについて—工業高等専門学校を対象にして—	岡村さやか	東京学芸大学大学院	
10:20	II P-5	柔道選手の筋力のトレーナビリティとACTN3遺伝子多型の関連性について	上水研一朗	東海大学体育学部	徳安 秀正 (東京有明医療大学)
	II P-6	血流制限下における技術トレーニング効果の検討—内分泌系に与える影響—	大川 康隆	東海大学	
	II P-7	重量級選手における心肺機能特性とその向上について	石井 勇人	東海大学大学院体育学研究科	
10:35	II P-8	大学生・高校生弓道選手のポジティブ特性を規定する要因及び因果モデルの構築	坂元 京子	熊本大学大学院	松尾 牧則 (国際武道大学)
	II P-9	弓道の道具の操作イメージと実運動の比較検討	木村 陽子	北海道大学教育学院	
10:45	II P-10	空手道選手の心理的競技能力と首尾一貫感覚の関係	谷木 龍男	清和大学	井下 佳織 (帝京平成大学)
	II P-11	空手の組手における間合いに関する研究	大徳 紘也	大東文化大学	

昼食・休憩

専門分科会企画

13:00	空手道 専門分科会	剣道 専門分科会	弓道 専門分科会	障害者武道 専門分科会	なぎなた 専門分科会	柔道 専門分科会
	教育研究棟 2階 1202 教室	教育研究棟 2階 2201 教室	教育研究棟 2階 3201 教室	教育研究棟 2階 2206 教室	教育研究棟 2階 3202 教室	教育研究棟 2階 1201 教室

※各専門分科会企画の開始時刻が異なります。